



△富岡シルクオリジナル商品の展示

2 015（平成27）年11月、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を記念し、「絹の都」として名高いフランスのリヨン市において、絹を通じた日仏交流の歴史を紹介する大型文化事業「絹が結ぶ縁（SOYEUX DESTINS）」が開催されました。本展示会の実施にあたり、本市は、これまで富岡製糸場総合研究センターによる日仏交流史に関する調査研究の成果や古写真ほか、富岡製糸場に関する資料の提供を行い、会期中も本市の訪問団が、同地で富岡製糸場や富岡シルクのPR活動を実施しました。

「絹が結ぶ縁」の開催

ブル・ド・ペアーージュ市から贈呈されたメダル



右：1972（昭和47）年贈呈
左：2015（平成27）年贈呈



△2015（平成27）年11月4日、外務省在リヨン領事事務所長同席のもと、協定書が交わされる

ブル・ド・ペアーージュ市との友好都市協定の締結をはじめ、富岡市とフランスの交流における主な出来事をご紹介します

ブル・ド・ペアーージュ市と友好都市へ

フ ランス共和国ブル・ド・ペアーージュ市は、富岡製糸場の設立指導者であったフランス人技師ポール・ブリユナの生誕地です。2015（平成27）年11月に本市は同市と友好都市になりました。同市とのつながりは、1872（明治5）年の富岡製糸場設立までさかのぼりますが、それ以降の交流は100年の時を経ることになります。

1972（昭和47）年に、NHKのドキュメンタリー取材班がブル・ド・ペアーージュ市に入ったことがきっかけとなり、富岡製糸場設立100周年を記念して、日本国外務省経由で、当時のブル・ド・ペアーージュ市から本市に記念メダルが贈呈されました。（2015（平成27）年、友好都市協定締結時にも贈呈される）それから三十余年が過ぎた2008（平成20）年より、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録推進活動の一環にて、本市における日仏交流事業が動き始めました。

▷本市出身の染色アーティスト大竹夏紀さんの作品展示



△酒井登巳子さんによる花まゆ作品の展示



△富岡製糸場とフランスを結ぶ縁を描いたサンドアートデュオ・エミュレヌエットによる実演

「ブル・ド・ペアーージュ展」の開催

友 好都市協定締結を記念して、2016（平成28）年10月、富岡製糸場東置繭所で「友好都市協定締結記念事業ブル・ド・ペアーージュ展」周辺地域の歴史的産業に光をあてて「」を開催しました。本展では、交流の原点であるポール・ブリユナの関連資料をはじめ、ブル・ド・ペアーージュ市の主要産業であったフェルト帽子にまつわる資料の展示を行いました。また、同市の周辺地域であるアン県に位置するセルドン銅工場や、ボネ絹工場からも展示資料を借用し、展示しました。



◁特別に借用したセルドン銅工場の契約書と会計簿



△オープニングセレモニー

を発信する好機になりました。また、ナタリー・ニエゾン市長のほか、ブル・ド・ペアーージュ市民が訪問するなど、友好都市であるブル・ド・ペアーージュ市との交流を深められたことが何よりの成果であると言えます。

2011（平成23）年に、企画展「絹の歴史と富岡製糸場」がブル・ド・ペアーージュ市および隣接するコミューン（フランスの基礎自治体）であるロマン・シユル・イゼール市にて開催され、当時クレアパリに派遣されていた本市職員が富岡製糸場の歴史について発表を行い、富岡製糸場の世界遺産としての価値を発信しました。

このように、世界遺産登録へ向けた学術研究を中心としてブル・ド・ペアーージュ市との交流を積み重ね、2014（平成26）年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録。その翌年に外務省在リヨン領事事務所主催の富岡製糸場世界遺産登録記念大型文化事業「絹が結ぶ縁」が開催されることになり、この事業に合わせて同市との友好都市協定を締結することができました。



△友好都市協定締結式の後に行われたポール・ブリユナ記念プレート除幕式
写真右：ナタリー・ニエゾン市長

日仏自治体交流会議への参加

日 仏自治体交流会議は、2008（平成20）年10月に、日仏交流150周年を記念してフランスのナンシー市で、互いに姉妹都市関係にあるナンシー市と金沢市の両自治体の呼び掛けにより、初めて開催されました。

本会議は、姉妹都市など交流関係にある日仏両国の自治体が一団に会し、両国の自治体抱える共通の課題について議論することを目的に開催されています。一対一という自治体間交流の枠組みを超え、多面的な自治体間交流のモデルを提議しています。

本市は、第2回会議（金沢市）から参加しています。第4回会議（高松市）では富岡市長が分科会座長を務め、第5回会議（トゥール市）では全体会にて基調講演を行うなど、重要な役割を担ってきました。



△基調講演を行う岩井市長（第5回日仏自治体交流会議）

明治大学 クリスチャン・ポラック コレクション展

—資料が語る富岡製糸場の日仏交流史—

日仏交流史研究家で、幕末・明治の日仏交流資料の収集家であるクリスチャン・ポラックさんが収集した富岡製糸場関連資料を、所蔵館である明治大学図書館および同学博物館の協力の下、富岡製糸場東置繭所で展示しています。詳しくは、広報とみおか1月号または富岡製糸場ホームページをご覧ください。



商標（ラベル）コレクション 大日本上野国富岡製糸所（発行年不明）

日時 2月12日(日)まで、午前9時～午後5時（最終受付：午後4時30分）
会場 富岡製糸場東置繭所
問い合わせ 富岡製糸場戦略課
(☎64-0005)